

# 味来缶詰

## それは 味のタイムカプセルです

大人になるにつれ、卒業や親元を離れての一人暮らしなどにより、給食や親の手料理を食べれなくなった人も少なくはないだろう。  
給食の味や親の味には誰も思い出が詰まっているのではないだろうか。そんな「思い出」の味を、もう一度「今」味わうことが出来ないかと思い、その味を缶詰にすることを考えました。  
缶詰にすることで長期保存が可能となり、手軽に食べたい時に、もしくは記念に、懐かしい味を缶詰というツールを通して感じてもらいたいと思いました。  
缶詰を通して今まで「思い出」としてとどまっていたものをもう一度「今」として感じられるようになればと思いこの企画を提案します。

2016年8月25日の我が家の夕食 母の手料理



## あの時 あの場所で あの人が作った あの味

記憶

懐かしい母の味を

一人暮らしの息子へ

自分自身の成長を

母親の味の缶詰

親元を離れる子どもへ

初めて作った料理の缶詰

終活としての缶詰

廃校になった母校の給食

# 25年後に味わう

お世話になった人へ

給食のおばちゃんから卒業生へ

シェフ高齢のために店をたたむ名店の味

思い出

卒業記念品の缶詰

学校の思い出を

最後のおもてなしを

単身赴任中の父へ

家庭の味の缶詰

# 味来缶は このようにして 作られる

料理をつくる

写真を入れる 画像を送る

指定されたパックに料理を入れる

指定された用紙に手紙を書く

発送

運送業者

new business !!

new business !!

缶詰工場

パックを缶詰に入れ保管する

手紙書き済みラベルに写真を貼る

ラベルに写真を貼る

缶詰の消費期限 5年程度

フリーズドライ加工で25年



ラベル部分

# 味がつなげる 幸せ 記憶



・大人になるにつれ家族にならざるを得ない関係、それに伴い遠出などの時間も、缶詰というありがたき贈り物もコミュニケーションツールとして活用し、子への愛を、親への感謝を伝えます。

・家族のために働かざるを得ない状況で働いている人へお話を届けて感謝を伝えることも、帰って顔を見てご飯を食べたいそんな楽しみを家で待っている家族から父へ届けることができます。

・自分がいなくなった後も子へ愛を伝えていく、その家族の味を絶えずとなく未来へ、

・毎日ご飯を食べている時にももちろんこれから大人になる子供もはじめての味を知るわけではなく、美味しくなくても形が思っても、新しいことと挑戦し学んだそんな成長を感じる事が出来る。

・懐かしいでなくなってしまった思い出を味を味わいながら思い出に変わらせ、いつまでも長く人との繋がりを、帰って顔を見てご飯を食べたいそんな楽しみを家で待っている家族から父へ届けることができます。

お父さんへ



名称  
煎り鳥

原材料名  
 鶏肉 れんこん  
 ニンジン いんげん  
 ごぼう しいたけ  
 こんにゃく 家族の愛

内容総量

賞味期限

発送者

だいすきパパへ☆

お父さんのだいすきなアレをいれたよ。  
いつまでも元気で、お母さんと  
仲良くいてください

普段はなかなか言えないけれど言えない  
けれど、たくさん感謝しています